



# 東京多摩プロバスニュース

第 113 号

■事務局: 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-17-18 登坂征一郎方 ■電話: 042-375-5878



■編集・発行: 広報委員会 2024. 9. 4.

■ホームページ: [tokyo-tama-probusclub.com](http://tokyo-tama-probusclub.com)

## 楽しくなければプロバスではない



### 真夏の高校野球観戦

小林務会長

地球温暖化による気象変動猛暑・酷暑・大雨洪水、地殻変動による地震情報に、連日不安を隠せない今日この頃ですが、華やかにパリ 2024 オリンピック大会が開催されました。

同時に私の好きな高校生真夏の祭典、全国高等学校野球選手権大会も開催されました。高校野球も今年は歴史的な第 106 回大会である。参加する選手はもちろん母校の試合の応援に駆け付ける応援団、生徒、OB、地域、地元に関わるファンで連日甲子園球場は満員である。私も現在母校（山梨県立甲府工業高校）の東京同窓会会長在任中ですが、母校はここ 16 年間県内予選に敗れ大会に出場は叶いませんでしたが、1957 年春の選抜高校野球大会出場以来、春 5 回・夏 8 回計 13 回甲子園出場を果たしています。私も母校の出場試合には、県内予選は勿論全試合現地での応援、全国大会の甲子園球場も 5 回応援に駆け付けました。夜行バス、新幹線等いずれの手段においても、甲子園から遠く離れた地域の応援団は大変な思いをして駆け付けます。憧れの甲子園球場アルプススタンドからの暑さを忘れての声援、試合に勝って歌う母校の校歌は特別の思いがあります。勝った試合の感動、負けた試合の残念な思いと、いずれにしても生涯忘れ得ぬ思い出です。

最近では自宅で専らテレビ観戦ですが、猛暑の続く昨今、暑さ対策も十分に其々大変ですが、選手諸君も暑さに負けないで、応援団共々母校や故郷の為に頑張ってください。

### 理念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



多摩市一ノ宮公園 ; 多摩川の河川敷にあり、テニスやサッカー、朝のラジオ体操、犬の散歩に利用されています

### トピックス

プロバスニュースが当 113 号よりリニューアル印刷版となりました。将来的には、森林資源・エネルギー資源保全等のため完全デジタル化を目指しますが、当面はリニューアル印刷版とともにデジタル版(PDF)でも閲覧できるようにし、将来のデジタル化に備えたいと考えています。

QR コードを読みとり、当ニュースのデジタル版がスマホ等で閲覧できます。



◇◇◇ 第 21 期定期総会 ◇◇◇

第 21 期定期総会(令和 6 年度)が 7 月 10 日(水)午後 1 時 30 分より関・一つむぎ館 第 3 会議室で開催された。総会は、議長に片倉 満、書記に永田宗義各会員が選出されて審議に入り、第 1 号議案から第 6 号議案まで、すべて異議なく承認された。

**1. 令和 6 年度新理事・監査**

理事 会長	小林 務
理事 幹事	小島 明
理事 会計	小島 明(兼務)
理事 総務委員会委員長	片倉 満(兼務)
理事 研修・親睦委員会委員長	片倉 満
理事 広報委員会委員長	伊藤健一
理事 事務局	登坂征一郎
理事 会員委員会 (総務委員会に含む)全員で対処 地域奉仕委員会(研修・親睦委員会に含む)全員で対処 監査	増山敏夫



新任の役員



議長(右)と書記

**2. 令和 6 年度基本目標と活動方針 小林務会長  
<スローガン>**

「楽しくなければプロバスではない」

**基本目標**

コロナ禍も収まりつつある中、多摩プロバスクラブの活動も会員の減少等厳しい会計事情ですが、会員相互の親睦を高め、会員増強を努め『楽しくなければプロバスではない』を基本により良いクラブライフを楽しみましょう。

**活動方針**

- 1) プロバス会員間及び他クラブと交流・親睦を深める。
- 2) 研修・親睦委員会、他の委員会と協力して会の楽しい運営を図る。

**3. 委員会の活動計画**

**3.1. 総務委員会 片倉 満委員長**

- 1) クラブ全体の円滑な運営、準備、庶務業務の対応。
- 2) 幹事及び他の委員会とも連携し、魅力ある定例会の運営企画準備をすすめる。
- 3) 適時に、職務分掌を協力し合い、またクラブの資料等の整理保管をすすめる。
- 4) 会員増加を積極的に計る。5) 会則の見直し

**3.2. 研修・親睦委員会 片倉 満委員長**

クラブモットー“楽しくなければプロバスではない”を軸にした活動を行って参ります。

- 1) 月例昼食会(奇数月) 2) 忘年懇親会(12月)

- 3) お花見会(3月下旬) 4) 秋の味覚探訪(11月)

- 3.3. 広報委員会 伊藤健一委員長**
- 1) プロバスニュースの隔月発行 2) ホームページのメンテナンス・管理 3) デジタル技術の活用を推進し、会員間の交流を深める。 4) 会員増強に努める。

◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

**1. 幹事報告 小島明幹事**

- 1) 多摩 3 クラブ合同コンペは、2 度目の順延となり 10 月 31 日(木)となりました。
- 2) 五所川原全日本プロバス協議会総会に行つて参りました。詳しくは会報にてお知らせします。3 頁参照
- 3) 全日本プロバス協議会の次の担当クラブは、旭川プロバスクラブとなりました。

**2. 委員会報告**

**2.1. 総務委員会 片倉満委員長**

- 1) 第 241 回定例会：7 月 10 日(水)総会に引続き開催。  
・出席者：7 名(会員数 13 名=会員 10 名+休会員 3 名)  
・誕生祝い 7 月：片倉 満会員  
終了後、京王クラブにて懇親会実施
- 2) 第 242 回定例会(兼理事会)：7 月 31 日(水)  
関戸公民館 7 階 ワークショップルーム  
・出席者：7 名(会員数 13 名=会員 10 名+休会員 3 名)  
永田宗義会員、7 月末にて退会  
・誕生祝い 8 月：高村弘毅会員(欠席)  
・デジタル化に即した通信手段を念頭に置き、会員の事情による休会および退会された会友に関する会則、細則規定の見直し検討し、改正する予定です。

- ・スマホ学習：PDF ファイルについて 伊藤健一会員

**2.2. 研修・親睦委員会 片倉満委員長**

上期(7~12月)は奇数月の昼食会、秋頃のバス旅行、忘年会等を予定しております。休会会員、会友の方々にも随時参加を図ります。

**2.3. 広報委員会 伊藤健一委員長**

- 1) プロバスニュース第 113 号；9 月 4 日発行・配布。今号より外注する印刷版と同時に PDF 版も発行開始。
- 2) ホームページ更新は上記ニュース発行後に予定。

**2.4. 事務局報告 登坂征一郎会員**

- 1) 日野 PC プロバスだより 第 161 号  
・会長挨拶；黒澤直明会長  
・同好会活動；①ゴルフ同好会、②麻雀同好会  
日野 PC プロバスだより 第 162 号  
・会長挨拶；黒澤直明会長  
・渋沢栄一を引き立てた男 川村恵十郎氏
- 2) 大阪 PC 会報第 394 号  
・卓話；「梅雨を軽やかに過ごす」記事紹介
- 3) 八王子 PC プロバスだより 第 344 号  
・次年度人事構成・役員分掌
- 4) 多摩市国際交流センター、令和 5 年度事業報告



1. 全日本プロバス協議会第11回総会 小林務会長

コロナ禍により2年間余儀なく中止となった全日本五所川原大会が開催されました。当番幹事の五所川原プロバスクラブの皆様、開催関係の役員の皆様3年間に亘り開催にご尽力頂いたご苦労心痛察するに余りある思いです。参加者一同心より感謝申し上げます。

相変わらずの朝から猛暑の8月8日暫くぶりの東京駅、右往左往しながらも待ち合わせ場所指定の「銀の鈴」にたどり着く。8時30分全員集合・参加者点呼の後、22番線東北新幹線9時8分新青森行き「はやぶさ11号」に乗車、一路青森へ。昼過ぎに新青森到着。迎えて頂いた青森385の観光バスガイド久保田さんとドライバー宍戸さんの案内で、本日の全日本プロバス協議会総会会場の「プラザリュウ五所川原」へ。

定刻15時より本日の第1部全日本プロバス協議会第11回総会五所川原大会が、今ゆき子様の司会進行により開始、五所川原PC副会長岩谷信子様の開会の挨拶、全日本プロバス協議会会長馬場康博様の挨拶、ご来賓挨拶、祝電の紹介などいただいて、第2部の総会へ、議案審議も全日本プロバス協議会幹事長中田雅昭様の司会により無事異議無く終了。



場所を変えて、懇親会五所川原大会が開催されました。美味しい料理と五所川原PC木元会長率いる「たけしバンド」の演奏に酔いしれながら会場を後にし、今回待望の最終日の五所川原立佞武多の鑑賞に感動感激の連続、日本の歴史と伝統文化の素晴らしさに陶然……。特別公演にご当地出身吉幾三コンサートが花を添えて大盛り上がり、立佞武多のフィナーレに感動と感謝……。



午後9時過ぎに会場を後に今宵の宿「ホテルルートイン青森中央インター」に午後10時過ぎ到着。好天に恵まれた1日目。明日から竜飛崎、恐山散策、大間のマグロ料理会食等2日3日目の観光に期待と先ず好天を祈り就寝。

この度の五所川原大会、青森の名所旧跡見学に大変お世話になりました横濱プロバス倶楽部の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。



2. 龍飛崎レポート

小島 明会員

8月9日二日目のスタートです。10時にホテルを出発、横濱プロバス倶楽部16名、多摩プロバスクラブ4名、福島プロバスクラブ1名(6名はレンタカーで別行動)総勢21名でした。約2時間で狭い道を通りながら到着。早速上り始めました。脇には日本で唯一の歩行者専用国道、階段国道があります。



当日は、天気も良く波も静かだったので、その名の由来である荒々しい波が龍のように飛び跳ねる様子は残念ながら見られませんでした。

津軽海峡最北端の地らしく断崖絶壁の造形美と海岸線、又、風力発電の風車とまるで絵画を見ているような素晴らしい景色です。記念写真などを撮り、駐車場までおり、津軽海峡冬景色の歌碑を見聞き昼食の場所へバスで向かいました。



3. 下北半島を訪ねて

伊藤健一会員

8月10日、午前8時半、下北半島むつ市内のホテルを出発し下北観光へ。

最初の目的地、恐山に到着。硫黄系の悪臭が周辺にたちこめる。異臭は火山ガスようだ。地獄を模した岩山を横濱プロバスの方々、軽快なジョークが飛び交



う中を散策。岩山のあとは、極楽浜。靄のかかった宇曾利湖の風景は幻想的であった。ガイドさんに聞いた所、この湖は酸性が強いため魚は住めず、唯一、強酸性の環境に強い特別なウグイのみが住んでいるそうだ。

恐山のあとは本州最北端の地、マグロで有名な大間へ移動、「長宝丸」で美味しいマグロの刺身定食で昼食。「長宝丸」の店長さんからマグロ漁にまつわるお話を聞く。食事の後、近くの本州最北端のマグロモニュメント前で記念撮影と周辺散策。天気も晴れて暑くなっていたが、風がさわやかでした。



◇◇◇ ニコニコハッピーBOX ◇◇◇

8月：2,500円

増山敏夫会員：パリの街遺跡、堪能のオリンピックを感動を持って観ることが出来ました。健康寿命のお蔭です。

小島明会員：8月3日、4日と連光寺本村集会所で夏祭りをやります。屋台も色々出るので（作り手をやる）大変です。

伊藤健一会員：4人目の孫となる私の長男の息子が7月に無事に誕生。同時にその長男が、念願の歯科医院を新規開業できた。孫の順調な成長と開院の繁盛を願って。

◇◇◇ ハッピーバースデイ ◇◇◇

1. 7月に誕生日を迎えられました！



片倉 満会員；  
30日で喜寿となりました。特段体調に変化なく日々過ごしています。今後も楽観的な前向きな日常を過ごして参ります。

2. 8月に誕生日を迎えられました！



高村弘毅会員；  
8月15日は小生の誕生日であり、終戦記念日であります。南方の島々等で無念の戦死で命を落とされた人々に黙祷を捧げます。

◇◇◇ 東京多摩プロバスソング ◇◇◇

作詞 池田 寛  
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて  
緑の柱に囲まれた 我が故郷の行く末と  
社会奉仕に力をそそぐ  
集う我等プロバスクラブ  
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い  
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の  
教え導く糧となる  
集う我等プロバスクラブ  
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

◇◇◇ スマホの学習 ◇◇◇

—PDFについて—

PDFとは、Portable Document Formatの略で、特徴は紙に代わる電子ファイルであること。

- 1) スマホ、タブレット、パソコンなどで閲覧ができる。また、文字を拡大できるので、視力が落ちた場合でも見やすい。
- 2) 紙、インクを使わないので、自然、環境に優しく印刷、郵送等にかかる余分な資源やエネルギー等を減らせる。
- 3) 保管スペースを取らない。整理の手間が省ける。
- 4) メール、LINEなどで簡単に、誰にでも、どこにでも送付でき、配布数拡大にもつながる。

—学習内容—

○PDFファイルの閲覧

- 1) メールやLINEで送付されたPDFファイルを開く。  
通常は特別なPDFリーダーを導入しなくても、スマホ等の標準機能だけでPDFファイルを開き閲覧できる。
- 2) スマホで受信したPDFを自分のパソコンへ転送し閲覧する。

・LINEのトークから、メール（Gmail他）等へ転送する場合

- ①PDFファイルを長押し→②転送を選びクリック
  - ③送信先の選択で「他のアプリ」をクリック
  - ④メール、またはGmailを選びクリック
- 上記の方法で他の人のLINE、メールアドレスなどへも転送することができる。

- 3) PDFファイルのQRコードを写真カメラ等で読み取り閲覧する。

iPhoneの場合はカメラをかざし表示されるリンクをクリック。アンドロイドの場合はGoogle検索ボックスの右端にあるGoogleレンズで読み取ることができる。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

今号からリニューアルした多摩プロバスニュース。これまで、広報委員数人で分担し印刷していたのをやめて、外注とし、編集構成も一部見直し。6ページ構成が4ページになったことで、やや窮屈になった部分もありましたが、なんとか収めることができました。内容も寄稿の募集が思うにまかせない中ですが、8月に全日本プロバス協議会・五所川原大会の一大イベントがあり、ツアーを企画・運営していただいた横濱プロバス倶楽部の皆様の多大な尽力のお陰で、楽しく有意義な青森行きの日泊三日旅行となり、記事の1ページを飾ることができました。

果たしてリニューアル版はいかがでしょう？

（広報委員 伊藤健一会員記）